
Tricky

環

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Tricky

【Nコード】

N8857M

【作者名】

環

【あらすじ】

気まぐれ短編。

ハイプリースト×ハイプリースト（名前表記無し）

いつもクールな彼が動揺したら、どうなるのだろうか？

それは単純な、好奇心。

『リオリート』

同じギルドの支援型ハイプリースト。

支援型のくせに誰かとつるんでるのをあまり見かけない。

ギルド内での評判は『怖そうで近寄り難い』と『一匹狼でカッコイイ』の二択。

笑顔だつて滅多に見ない、たまに笑つてると思えば悪そうな顔してるし（笑）

そんなリオリートが動揺：まあちょっとビックリするとこ見たいな、なんて思つて。

溜まり場の裏に呼びつけてみた。

「リオ」

につこり笑って、彼の顔すれすれの壁にグランドクロスを突き立てる。

「…何？」

…さすがにこれくらいじゃ動じないか。

「俺、キミに何かし…」

言い終わらないうちに微動だにしないリオートの襟首を掴んで。

引き寄せて、唇を奪う。

多分ほんの僅かな瞬間。

けど何だか長く感じたのは、きっとあたしも緊張してたから。

唇を離してもリオートは何も言葉を発しない。

はあ、と溜め息をつき、一歩下がって見据える。

「ちょっとリオが動揺するところ、見てみたかったんだけどねー」

苦笑いしていると、不意に右手を引き寄せられた。

「してるよ」

「え？」

真っ直ぐに私を見つめる、リオリートの黒い瞳。

「動揺、してる」そう言ってリオリートは引き寄せた私の右手を、自分の胸に当てる。

右手に伝わる鼓動。
確かに早い。

「リオ…っ」

何か言おうとした私の唇は、今度はリオリートに奪われていた。

(後書き)

気まぐれ過ぎましたww

自己満(・・・)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8857m/>

Tricky

2010年10月21日23時12分発行